

## 農業と食を通じた『元気、づくり

組合員とJAのコミュニティ 誌わい！わい！ひまわり **vol.430**

# Wai!Wai! Himawari

# 特集 米作り作業を 安心して任せられる仕組み



2

FEBRUARY  
2026





専務理事  
伴野 雅章



## 『地域農業の持続性を高める力に!』

「人口動態統計」によると、今後の10年間において、第2次ベーブーム世代が65歳を迎える時期にあたります。高齢人口はこれからも増え続けるとともに、逆に出生数は減少傾向にあり、少子高齢化が加速することが想定されます。

一方で、農業の基幹的従事者の数は、農業センサスによると2000年（平成12年）の240万人から、20年後の2020年（令和2年）では136万人と激減しており、今後も農業従事者の高齢化によって減少することが想定されます。

最近、農業女子という言葉をよく目にすることがあり、中でも「農業女子プロジェクト」という活動が目に留まりました。「生産力の可能性を拓げる」「女性ならではの知恵を商品化する」「新たな市場を作り出す」など、女性ならではの発想により、社会に向けて新たに情報発信する取組みだということです。

農業従事者が減少する中で、農業分野における女性の活躍は、近年ますます重要性を増しており、実際、農業従事者に占める女性の割合は約半数に達し、農作業だけでなく、農業経営や販売・加工など多様な場面で活躍の場が増えていると聞きます。

女性が持つ視点や感性は、農産物のブランド化や地域資源を活かした商品開発において大きな強みとなり、農業経営の新たな可能性を秘めています。

2026年は、「女性農業従事者の国際年」と国連は定めており、農業の働きやすさを整えることは、農家の手不足解消につながり、農業の持続可能性を高める上でも大切だと感じています。



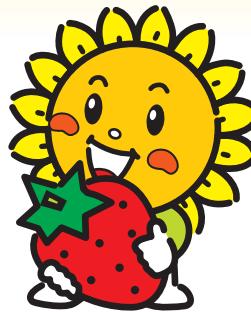
**Wai!Wai! Himawari**

組合員とJAのコミュニティ誌 わい！わい！ひまわり

vol.430  
2026 FEBRUARY

2

- 2 なかま
- 2 ひまわりキッズ
- 3 特集 **米作り作業を安心して任せられる仕組み**
- 6 ひまわりダイジェスト
- 8 農 -Farmers-
- 9 部会とともに
- 10 げんきの源
- 11 暮らしサプリぱらす
- 12 園 -Gardening-
- 13 家庭菜園
- 14 SDGsな女性部
- 15 To the future -未来へ-
- 16 ひまわり掲示板
- 18 MEMBER'S VOICE
- 18 地域農業応援店のWA!
- 19 理事会報告
- 20 お出かけまりくん



JAひまわりキャラクター まりくん



今月のひまわりキッズ  
**HIMAWARI KIDS**

ひより 加藤 陽結さん(7歳)・いおり 伊織くん(6歳)・こいろ 瑞彩さん(2歳)

加藤隆正さん、紫菜野さんのお子さん  
諫訪西町

Q. 好きな食べ物は何ですか？

■ 陽結さん：手羽先 伊織くん：唐揚げ

瑞彩さん：納豆

Q. 好きな遊びは何ですか？

■ 陽結さん：なわとび 伊織くん：ブランコ

瑞彩さん：すべり台

Q. ご両親からのメッセージ

■ 元気に仲良く育ってね。

特集

# 米作り作業を 安心して任せられる仕組み

地域の水田を守り、安定した米作りの継続を促すことは、JAの重要な役割のひとつです。

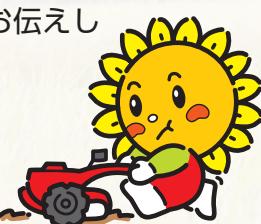
J Aひまわりでは、作業が困難となった生産者を支えるため、水田農業経営者部会による作業受託事業を実施しています。

適切な技術を持つオペレーター※が、安全に配慮しながら作業を行います。

本特集では、事業の仕組みや受託可能な作業内容についてわかりやすくお伝えします。

※オペレーター…

農地の賃借や農作業の請負によって  
大規模な農業経営を行う者



# 水田を守ることと 地域を守ること

水田は、米を育てるだけの場所ではあります。

私たちの食卓に欠かせない米を安定して生産する基盤であると同時に、降った雨を一度受け止め、水路へゆっくりと流すことで、急な増水を防ぐ役割も担っています。

また、水が張られる季節には多くの生きものが集まり、四季折々の景観や地域の文化を形づくってきました。子どもたちが自然や食の大切さに触れる場としても、水田は欠かせない存在です。だからこそ水田を守ることは、農家だけの課題ではなく、地域全体のくらしと食を守る大切な取り組みなのです。

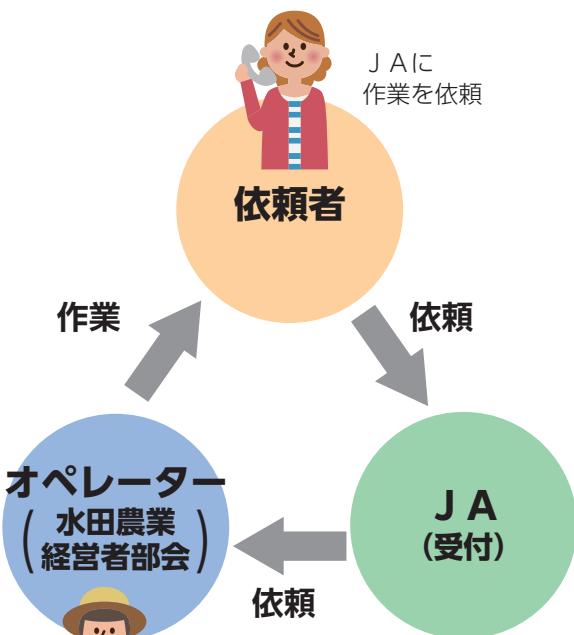


しかし

「体力的に農作業が難しい」「農地はあるけど遠方に住むことになり、農作業を行えない」「農業用機械が壊れてしまつたが、買い替えるのも考えてしまう」などの諸事情により、「田んぼの管理が困難な方も少なくありません。「自分の田んぼで栽培したお米を食べたいが、自分でではお米が作れない」という困りごとを抱える人が地域で少しずつ増えています。

そんな時  
には

## 〈田んぼ作業受託事業〉にお任せしましょう



J Aに申込用紙を記入して申し込むことで、J Aからオペレーターへ作業を割り振りします。J Aが窓口となるので安心してご相談いただけます。

田んぼ作業受託事業  
とは

地権者（田んぼの持ち主）に代わって、当J Aの水田農業経営者部会に所属するオペレーターが米作り作業を行います。

J Aに申込用紙を記入して申し込むことで、J Aからオペレーターへ作業を割り振りします。J Aが窓口となるので安心してご相談いただけます。



## 〈田んぼ作業受託事業〉

### ○ 引受可能な作業例

もみうんぱん  
**糀運搬**

**刈取作業**

**田植え作業**

しろか  
**代掻き作業**

こうき  
**耕起作業**

収穫した糀(稻の実)を  
乾燥・保管する場所へ  
運ぶ作業。

実った稻を刈り取る作  
業。

苗を田んぼに一定の間  
隔で植えていく作業。

水を入れた田んぼの土  
をかき混ぜ、平らに整  
える作業。

田んぼの土をトラク  
ターなどで耕し、やわら  
かくする作業



※各作業には基本料金がかかります。また、水田等の状況により割増料金が発生する場合や作業をお断りする場合もあります。

### ✗ 引受できない作業例



✗野焼きなど

✗草取り・草刈り

✗鳥獣害駆除

✗水の管理



お問い合わせ・詳細については

**J Aひまわり農産課  
農作業支援センターまで  
☎84-7766**



水田農業経営者部会  
部会長 早川宏明さん

オペレーターとして仕事をしていると、やはり体力的なことから田んぼの管理ができないという話をよく聞きます。また、生産資材や生産コストの上昇によって、作業と収入が見合わない事から手がつけられないということ耳にします。一方で、田んぼが荒れてしまうことで、カメムシなどのすみかになってしまったり、ヌートリアなどの逃げ場所、隠れ場所になったりしてしまい、近隣の田んぼが被害にあうことも少なくありません。一部の作業のみでも対応できるため、お困りの作業があれば、JAに一度ご相談いただければと思います。

11/21

## バラ出荷会議を開催 品種・市場情報などについて 意見交換

バラ部会は総合集出荷センターにて「令和7年度出荷会議」を開催し、部会員や市場関係者などが参加しました。会議では生産出荷情勢報告や品種検討、販売に関する意見交換などが行われ、生産者が市場関係者らと積極的に情報交換する姿が見られました。同部会は、品質向上と市場ニーズに応えるため、関係者を招いた出荷会議を定期的に開催しています。



▲新品種について意見交換をする部会員ら

11/29

## 睦美支店・豊川支店の支店まつり まりくんとのふれあいを 楽しんで



▲まりくんとじゃんけん対決をする参加者

豊川東事業所の睦美支店と豊川支店は、わい！わい！ホールにて支店まつりとして「まりくんとふれあいイベント」を開催しました。親子連れを対象にした会場では、管内の野菜に関するクイズラリーやまりくんとのじゃんけん大会、まりくんとの記念撮影が行われ、まりくんとふれあう時間となりました。

12/6

## やすらぎマルシェ三蔵子と 家族葬専用ホール内覧会 地域の身近な存在に

葬祭課はやすらぎ会館三蔵子にて「やすらぎマルシェ三蔵子」とやすらぎ会館三蔵子内に新設された「家族葬専用ホール内覧会」を同時開催しました。会場では、豚汁のふるまい、スタンプラリー、ガラガラ抽選会なども行われ、多くの来場者で賑わいました。家族葬専用ホールにはとよかわバラのオリジナル祭壇が装飾されました。



▲幅広い世代が来場し、イベントを楽しんだ

12  
9

## シクラメンの出荷最盛期 クリスマスや 年末年始の贈答として人気

鉢物部会の栽培するシクラメンが出荷最盛期を迎えました。豊川市は県内一の出荷量を誇るシクラメンの産地です。今年は猛暑の影響により開花が例年より遅れていましたが、遮光カーテンなどによる温室内の管理をこまめに調整し、品質は例年通りの仕上がりとなりました。同部会の出荷するシクラメンは花持ちの良さが特長で、丁寧な管理をすることで4月末まで楽しめます。



▲生育を確認し、出荷作業を行う生産者

12  
12

## 赤坂小米づくりボランティアと 米作り感謝の会 児童が自分でついたお餅を楽しむ



▲「よいしょ」の掛け声で餅つきを楽しむ児童

赤坂小米づくりボランティアと赤坂小学校5年生児童は、毎年恒例の米作り感謝の会を開催し、餅つきを楽しみました。当JAの音羽支店は、支店活動として田植え苗の提供などを行いました。児童は一人ずつ順番に杵を手にし、臼の中の餅をめがけて振り下ろしました。児童はつきたての餅を食べ、笑顔を見せしていました。

12  
15

## 赤バラの出荷最盛期 クリスマスは赤いバラが人気

バラ部会が栽培する赤系のバラが出荷のピークを迎えるました。同部会の出荷する赤バラはクリスマスの贈答用などに人気があります。部会の赤バラの主力品種である「サムライ」はビロードのような深みと光沢のある赤色が特長です。部会員は出荷されたケースに入れられたバラの状態を目視で一つひとつ確認し、品質の維持に努めています。



▲生産者自ら品質をチェックし、出荷される赤バラ

農業は食を生む仕事であり、  
なくてはならない仕事



いちご部会所属  
**山口 猛さん**

### 毎日気が抜けない

15年ほど前に実家を継いだ猛さんは、およそ22アールのハウスでイチゴの栽培をしています。現在、愛知県オリジナルブランド「愛きらり」をメインに出荷をしています。一度は農業関係の企業で働きましたが、継ぐなら早めがよいと考え親元就農に至りました。イチゴは真夏に苗を育てるのがとても難しく、特に近年は高温の影響で、病害虫が発生しやすいので丁寧な管理が必要です。毎日気が抜けない日が続きますが、「イチゴ栽培の難しいところでもあり、苦労した分、安定した出荷につながる」と話します。



vol.38

農畜産物を生産・出荷している方を  
ご紹介します



## 部会とともに

いちご部会担当  
彦坂 幸志さん

### お互いの印象は

山口さん：人当たりが良くて、しゃべりやすい印象です。  
彦坂さん：相談しやすくて、話しやすいです。

### あなたにとってどんな存在ですか

山口さん：職員1年目なので、覚えることもたくさんあり、大変だと思いますが、頑張ってくれていると思います。今後も期待しています。  
彦坂さん：「愛きらり」を広めていこうという熱があり、部会のPR活動にも積極的なので学びの多い存在です。

### 相手の方にメッセージをどうぞ

山口さん：「愛きらり」を共に大きく育て上げましょう！  
いつしょに飲みにも行きましょう。  
彦坂さん：これからもいろいろと頼りにさせていただきます。たくさん教えてください。

SAHIMAWARI

山口さんが所属している  
**いちご部会**

生産者数 89名 販売数量 264万パック  
栽培面積 14ha 販売金額 9億円

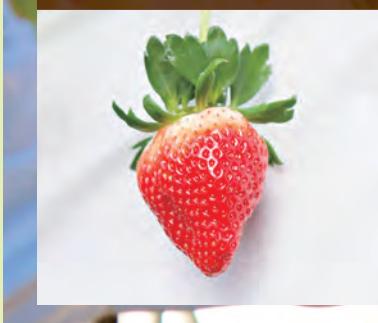
いちご部会では部会品種として「愛きらり」「とちおとめ」「やよいひめ」を出荷しています。県内のイチゴの主要産地のひとつである豊川市はイチゴの栽培の歴史が長く、昭和23年から続いています。部会では長い歴史で培われた栽培技術を共有し高品質なイチゴを栽培しています。

ました。

活するうえで食べるこ  
とは大切なことであり、  
その食を生む農業もま  
た、なくてはならない  
仕事だと思う」と話し  
ました。



イチゴは同じ苗でも茎が1本から出来るイチゴと、枝分かれして出来るイチゴがあります。  
「愛きらり」は比較的実が大きく育ちます。中でも茎1本から成る実は特に大きく育ちます。



猛さんが栽培する「愛きらり」は新しく部会品種（品種名は愛経4号）に加わったイチゴです。県の試験場で改良されたことから、愛知県の気候や栽培条件に適しています。部会でも大きく面積を増やしました。こうした背景から、生産者自ら地元のイベントなどに出向いて「愛きらり」をPRしています。猛さん自身も、JAひまわりの作る「愛きらり」を市内はもちろん、県内、そして全国の人が食べるようないブランドにしたいと力をいれています。

そんな猛さんは「生

## 「愛きらり」を全国区に

## 材料 (2本・2人分) ホウレンソウ

<ご飯>	
ご飯	350g
ごま油	小さじ1
塩	2つまみ
牛肉（切り落とし）	
A しょうゆ	大さじ2
酒	大さじ1
ごま油	大さじ1/2
コチュジャン	小さじ1
砂糖	小さじ1
ニンニク（すり下ろし）	1/2片
<ホウレンソウ>	
ホウレンソウ	1束
しょうゆ	小さじ1
ごま油	小さじ1
<たくあん>	
たくあん	50g
ごま油	少々
酒	小さじ1
のり（全形）	2枚

## 作り方

- ご飯にごま油と塩を入れて混ぜ、冷ましておく。牛肉にAをもみ込み下味を付け、フライパンで軽く炒めて冷ましておく。ホウレンソウは塩少々（分量外）を入れた湯でさっとゆでて水気を絞り、食べやすい長さに切つてしまふゆどごま油をもみ込み下味を付けておく。
- スライスしたたくあんを5mmの細切りにしてフライパンに入れ、ごま油・酒を加えて軽く炒めて冷ましておく。
- のり1枚を巻きすの上に置き、ご飯の1/2量をごく薄く延ばす。奥側は2cmほど空けておく。真ん中よりも少し手前に具材を並べ、具材を押さえながら巻く。巻き終わりを下にして置き、なじませる。これを2本作る。
- ぬれた布巾で包丁を拭きながら好みの大きさに切つて出来上がり。



## キンパ (韓国風太巻き)

げんきの源  
Genki no minamoto



## 今月の食材! ホウレンソウ

鮮やかな緑色が  
食卓を彩る  
栄養豊富な葉物野菜

ホウレンソウは世界中で食べられている葉物野菜のひとつで、日本でもおひたしや和え物、炒め物、汁物など幅広い料理に使われています。原産は中央アジアとされ、日本には江戸時代に伝わったといわれています。

種まきの時期によって旬が異なり、冬に収穫されるものは「寒締めホウレンソウ」と呼ばれ、甘みが増すのが特長です。愛知県内で

彩りと栄養を手軽にプラスできるホウレンソウは、毎日の食卓に取り入れやすい野菜のひとつです。

も各地で栽培されており、当JAの直売所では、肉厚で色の濃い新鮮なホウレンソウが並びます。ホウレンソウは、緑黄色野菜の代表格。 $\beta$ -カロテンやビタミンC、鉄分、葉酸などを含み、体調管理に役立つ栄養素が豊富です。特に $\beta$ -カロテンは体内でビタミンAに変換され、皮膚や粘膜の健康維持に関わります。また、食物繊維も含まれているため、腸内環境を整える働きがあります。ただし、アクの成分であるシユウ酸を含むため、さつと下ゆをしてから調理するのがおすすめです。

クセが少なく、さまざまな食材と相性が良いのも魅力です。定番のおひたしはもちろん、ベーコンや卵と合わせた炒め物、バターとチーズを使った洋風料理でもおいしくいただけます。寒い季節には、スープやグラタンに加えるのもおすすめです。



J Aひまわり設立35年特別企画として広報誌や産直店舗で展開した「サンチョクレター」は、日々丹精を込めて出荷をしている生産者に向けて、感謝の言葉を直接伝えるというものでした。合計で19通のレターをいただきました。ありがとうございました。

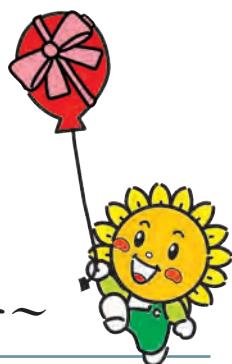
みなさんから寄せられた「ありがとう」の言葉を、私たちが生産の方へ直接お届けしました。実際にレターを受け取った生産者の方々とレターを出してくださった方の感想をご紹介します。

健康や経済、先進技術などなど…暮らしに役立つ知識をピックアップ



# 暮らしサプリ plus

## サンチョクレター～その後のストーリー～



お渡しに行きました！



サンチョクレター  
お渡しの様子  
(動画)



サンチョクレターを出してくれた方からは次のようなコメントをいただきました。

「生産者への感謝を伝える機会はなかったので、すごくいい取り組みだと思いました。今後も地元の生産者を応援していきます」

「毎週のようにグリーンセンターに買いに行って、推しの生産者さんがいると、その方のものを買うようになります。いつも本当にありがとうございます。子どもも推しの方のキウイが大好きです」

「いつもひいきにしてくれてありがとうございます。こうして喜んでいただけるのは大変うれしいです。おいしいと言つても喜んでいただけるのは大変うれしいです。いつも野菜を買ってもらえることもあります。お手紙をいただいて今後の活動の励みになりました」

「ただいた『ありがとうございます』の言葉は、生産者の皆さんの大大きな励みになりました」

「これからも、J Aひまわりは地域の食を支える生産者と利用者をつなぐ取り組みを続けていきます。  
(一部、宛名不明でお届けできなかつたレターがあります)

# 冬の代表格 鮮やかな紅白の葉牡丹に囲まれて

ep. 38

榎原 政弘さん

本野町

家庭菜園やガーデニングを  
楽しんでいる方をご紹介します



-Gardening-  
ガーデニング



自宅の道路側をぐるっと囲むように、鮮やかな紅白の葉牡丹が植えられています。政弘さんは、家の周りに広がる花壇のようなスペースに何を植えるかを考え、試行錯誤を重ねてきました。その結果、一年を通して季節ごとにできるだけ長く楽しめる葉牡丹とマリーゴールドを育てるにしました。葉牡丹は、8月中旬に種をまき、芽が出て苗になるまで丁寧に育てます。30センチ間隔で紅白を交互に植え込むことで、庭全体がより鮮やかに見えるようになります。11月下旬から2月末まで、庭を彩り続けます。葉牡丹の見頃が終わると、3月中旬からマリーゴールドの種をまき、4月上旬まで育てます。6月から9月ごろま

で黄色やオレンジの花を咲かせ、庭に明るさを添えます。

数年前からは、政弘さんが育てた葉牡丹が近所の公園にも植えられるようになりました。さらに縁がつながり、公民館の花壇にも植えられるようになったといいます。自宅で楽しんでいた葉牡丹は、次第に地域全体を彩る冬の風物詩へと広がっていきました。現在では、自宅の周りの花壇と庭、公園と公民館を合わせて150株以上の葉牡丹が植えられています。

政弘さんは「今年も大きくなりに咲いてますね。と毎年楽しみにしてくれる人もいて、励みになつていて。咲くのを喜んでいただけるとうれしい」と話しました。



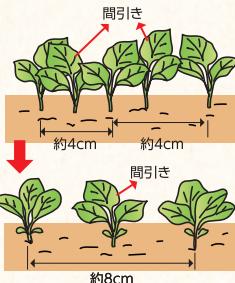
プロが教える  
ワンポイント  
アドバイス!

# 家庭菜園

Home vegetable garden 園芸研究家 成松次郎

## 4 間引き

本葉1枚で株間が約4cm間隔になるように間引き、2回目は本葉3、4枚で株間が約8cm間隔になるように間引きます(下図)。



## 5 追肥

1回目は株定め後、化成肥料を畝の両側に合計で1m当たり20~30g、2回目は本葉8、9枚の頃に50g施します。いずれも、追肥後は除草を兼ねて中耕・土寄せしておきます(下図)。

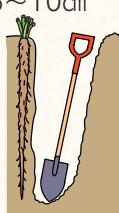


## 6 病害虫防除

病害虫を出さないようにするには、連作をしない、未熟な堆肥を使わない、周辺を除草することが基本です。なお、ゴボウはセンチュウ被害を受けやすいので、前作のキュウリやニンジンなどにセンチュウ被害があつた畑では栽培を避けましょう。

## 7 収穫

春まきの若ゴボウは、直径が約1cmになる頃から掘り取ります。普通のゴボウは直径約2cmが目安で、発芽から収穫までは短根種で3カ月、長根種で4、5カ月程度です。収穫は、まず葉柄を5~10cm残して茎葉を刈り取り、スコップで株の片側を深く掘って、根を露出させてから引き抜きます(下図)。冬には霜で茎葉は枯れますが、長根種は越冬し2月ごろまで収穫できます。



### 栽培カレンダー(ゴボウ)

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
冷涼地 春まき			●	---	---	---	---	---	---	---	---	---
中間地 春まき		●	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
秋まき	---	---	---	---	---	---	●	---	---	---	---	---
暖地 春まき	●	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
秋まき	---	---	---	---	---	---	●	---	---	---	---	---

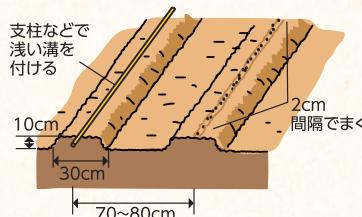
● 種まき
— 生育
■ 収穫(短根種)
■ 収穫(長根種)

## 1 品種

根長が70~80cmになる長根種の「山田早生」(各社)、「柳川理想」(柳川採種研究会)などが一般的ですが、家庭菜園には30~50cmの短根種がお薦めです。短根種の「サラダむすめ」(タキイ種苗)、「ダイエット」(サカタのタネ)はサラダにも向いています。

## 2 畑の準備

ゴボウは根が深いので、畑をあらかじめ50~70cmほど深く耕しておきます。種まきの1カ月前に、1平方m当たり堆肥1kgと苦土石灰100g、1週間前に化成肥料(NPK各成分10%)100gを施し、深さ30cm程度まで耕します。次にペッド幅を30cm程度取り、高さ10cm程度の畝(耕土の浅い畝では高さ20~30cmの高畝)を作り、中央に園芸用支柱などを押し付け、深さ1cm程度のまき溝を作ります(下図)。



## 3 種まき

種皮に発芽抑制物質があるため、水に一晩浸しておきます。まき溝に約2cm間隔で種をまきます。好光性種子のため土は薄くかけ、鎮圧します。発芽まで約2週間かかるため、その間土を乾かさないことが大切です。発芽促進と幼苗の保護のため、不織布によるべたがけが有効です。

「ゴボウ」  
畑を深く耕し長い根を作る

ゴボウは食物繊維が豊富でカリウムも多い健康野菜です。高温性で、発芽適温は20~30度ですが、生長したゴボウは寒さにも強いです。

ゴボウは食物繊維が豊富でカリウムも多い健康野菜です。高温性で、発芽適温は20~30度ですが、生長したゴボウは寒さにも強いです。適しています。春まき冬取りと秋まき夏取りができるますが、春まきの方が栽培しやすいです。

# SDGsな女性部

女性部のできごとをお伝えします



## ひまわりたすけあいの会がJA愛知みなみを視察 笑顔あふれる交流会に

ひまわりたすけあいの会のスタッフ8人は、12月2日、JA愛知みなみを訪問し、交流を兼ねた視察を行いました。

当日は、スコップを使って演奏する「スコップ三味線」を教えていただき、今回は新しい曲に挑戦しました。これまでに身につけた動きに加え、新たなリズムや演奏方法を学び、より一層楽しむことができました。

また、当JAからは、松ぼっくりを使ったクリスマスツリーの作り方を紹介し、参加者全員で飾り付けを楽しみました。お互いに教え合いながら作業を進め、和やかな雰囲気の中で交流を深めることができました。

参加者からは、「新しい曲を教えてもらえて勉強になった」「クリスマスツリー作りを通して、楽しく交流できてよかったです」といった声が聞かれ、思い出に残る視察となりました。

### ひまわりたすけあいの会 スタッフ募集中!

興味のある方は、組織活性課 事務局（☎85-3195）までご連絡ください。



## 女性部親睦日帰り旅行 あま市七宝焼き体験と なばなの里で昼食＆観光

今年は例年より参加者を増やし、12月9日に女性部親睦日帰り旅行を実施しました。当日は48名の女性部員が参加しました。

なばなの里では、ビール園にて昼食をとり、その後、紅葉やベゴニアガーデン、足湯などをそれぞれの楽しみ方で散策しました。

あま市七宝焼体験アートヴィレッジでは、今回の旅の楽しみのひとつである「七宝焼き体験」を行いました。17色の中から色を選び、砂のように細かいガラスを選んだ形にのせて焼いてもらう体験は少し難しい部分もありましたが、皆さん楽しみながらオリジナル作品を作っていました。

帰りには刈谷ハイウェイオアシスにも立ち寄り、和やかな雰囲気のまま帰路につきました。

當農資材センター東部出張所は現在、4人の職員が配属されており、農業生産資材など（肥料・農薬）を供給しています。

除草剤キャンペーンなども定期的に開催し、活気ある店舗づくりを心掛けております。

大岩當農資材センター東部出張所長は「商品を扱う際には利用者へ真心を込めて提供するようしている。地域農業振興の一助になるように職員一同頑張っている」と話しました。



## 農部 當農資材センター 東部出張所

豊川市大木町遣水321番地の2  
☎93-2074  
営業時間 8:30~17:00



JAひまわりの部署・職員を紹介します

未来へ

# To the future

ピックアップ職員



松井 美樹さん

Q.好きなことは何ですか?  
愛犬と過ごす時間

Q.最近感動したことは何ですか?  
雪の中から犬が救助される動画を見たとき

目指す職員像  
楽しく仕事ができる職場にする



## わい！わい！ポイント商品交換キャンペーン



期間限定の「ポイント商品交換キャンペーン」を実施中です。地元農畜産物を中心としたお得な商品に交換できます。さらに、商品交換した方限定で、ハズレ無しの抽選会にご参加いただけます。お得が盛りだくさんのキャンペーンをぜひご利用ください。

**〈キャンペーン期間〉** 2月15日(日)まで

ポイント交換はお近くのポイント記録端末設置店へ  
本店・三蔵子支店・牛久保支店・睦美支店・八幡支店・一宮支店  
グリーンセンター豊川・グリーンセンター一宮  
グリーンセンター音羽・産直ひろば御津・Aコープ小坂井店

※詳細はチラシ、もしくはJAひまわりホームページ「お知らせ」からご確認ください。

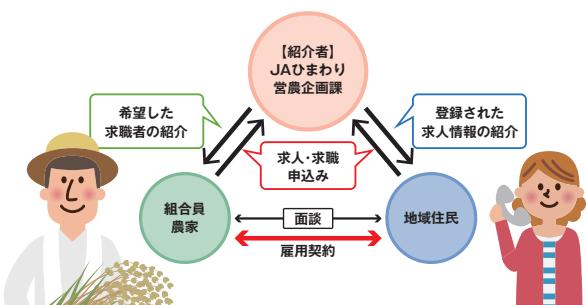


## 農作業の求人・求職 (無料職業紹介)

当JAでは管内の農家の労働力不足を補うため、職業安定法による無料職業紹介事業を行っています。農作業で労働力を必要としている農家とパート等として働きたい人の橋渡しをします。詳細はJAひまわりのホームページをご覧いただき、下記へお問合せください。

### 〈お問合せ先〉

JAひまわり 営農部営農企画課 ☎85・1234  
(総合集出荷センター 管理棟)



## 農機センター

### 2月休業日のお知らせ

農機センター ☎85・2555

農機センター 西部出張所 ☎76・2200

水曜日・日曜日・祝日



## まりくんフェスタを開催!

「ふれあい・学び・楽しむ」をテーマにした親子向けのイベント「まりくんフェスタ」を初開催します。JA職員による食育講座やお金の大切さを学ぶ～JAバンク体験～など、親子向けのイベントです。

入場無料ですので、お気軽にご来場ください。

**〈開催日時〉** 1月31日(土) 10:00～15:00

**〈開催場所〉** JAひまわり本店(豊川市諏訪1丁目1番地)

**〈お問い合わせ先〉** 組織活性課 ☎85・3195

※詳細はJAひまわりホームページからご確認ください。



## くらしの安心フェアを開催します (参加無料)

お得なガス器具の販売会や介護・葬儀などのくらしに関する相談会などを行います。お気軽にご参加ください。

**〈日 時〉** 2月7日(土) 9:00～14:00

**〈場 所〉** わい！わい！ホール(グリーンセンター豊川併設)

**〈お問合せ先〉** 燃料課 ☎89・5558



## グリーンセンター・産直ひろば・Aコープ小坂井店 2月休業日のお知らせ

グリーンセンター一宮	2月4日(水)
グリーンセンター音羽	2月11日(水)
グリーンセンター豊川・産直ひろば御津	2月18日(水)
Aコープ小坂井店	無 休



## グリーンセンター・産直ひろば・Aコープ イベント情報

### グリーンセンター一宮・音羽

▶2月1日(日)産直野菜入り節分汁のふるまい

※無くなり次第終了

### グリーンセンター豊川

▶2月3日(火)鬼退治ゲーム大会

お買い上げ金額1,000円ごとにもらえる福豆で鬼退治ゲームに参加できます。ゲームで高得点を出すと追加。

## 各種相談のご案内

### 遺言・相続相談会（事前予約が必要です）

2月20日(金) | 13:00～17:00(1日4組・1組50分間)  
3月13日(金) | 本店 組織活性課 ☎85・3195  
(受付開始2月2日9:00～)

### 年金相談会（事前予約が必要です）

2月14日(土) | 9:00～16:00  
3月7日(土) | 金融課 ☎85・3173

### 土曜共済相談会

2月14日(土) | 9:00～16:00  
本店 共済課 ☎85・3590

### 税務相談会(奇数月25日)

3月25日(水) | 14:00～17:00(1日3組・1組50分間)  
本店 組織活性課 ☎85・3195  
一宮支店 ☎93・3535  
御津支店 ☎76・2131  
小坂井支店 ☎78・3141

### 土曜・日曜ローン相談会

毎週土曜・日曜日 | 9:00～17:00  
ローンセンター ☎56・7770

### 土地売却相談・土地活用相談・ 相続税試算相談

不動産相談センター ☎89・6211  
隨時開催しています。  
※ご希望の方は事前にお問合せください

### 介護相談

介護福祉センター ☎83・8580  
介護に関することはお気軽にご相談ください。  
※介護サービスを利用していない方が対象です

### 葬儀相談

やすらぎ会館三蔵子 葬祭課 ☎85・0900  
相談受付10:00～15:00  
何でもご相談ください。

### LPガス相談

燃料課 ☎89・5558

▲各種相談は隨時受付しています。  
事前にお電話いただけないと受付がスムーズです。



### アスパラガス生産農家を 募集しています

J Aひまわりでは、今後の産地維持と生産体制の強化を目的に、アスパラガスの新規生産農家を募集しています。

アスパラガスは、無加温(暖房設備を使用しない)ハウスで栽培でき、比較的初期投資を抑えられる品目です。既存のハウスを活用できる場合は、新たな設備投資がほとんど必要なく、就農しやすい作物として注目されています。

また、一度植えれば8年以上収穫が可能で、2月から10月まで長期間にわたって収穫できることから、安定した収益が見込めます。新規就農者にも取り組みやすい品目として、多くの生産者が栽培に取り組んでいます。

出荷については、御津町のパッキングセンターを利用するため、出荷調整作業の負担が少ない点も特徴です。

当JAでは、生産部会や研修制度を通じて栽培技術の習得をサポートしています。アスパラガス栽培に興味のある方、就農を検討されている方は、お気軽にお問い合わせください。

〈お問合せ先〉青果課 (JAひまわり総合集出荷センター)

☎85・1234 担当 森田・宮崎



### 水曜日がお得！

わい！わい！ポイント制度キャンペーンについて



### ポイント3倍デー

実施店舗 グリーンセンター豊川・一宮・音羽  
産直ひろば御津  
Aコープ小坂井店

★水曜日が定休日の場合は、その前日の火曜日



### 当JA広報誌の 資源リサイクルについて

いつも当JA広報誌『Wai!Wai!Himawari』をご愛読頂きありがとうございます。

組合員の方から「この冊子を資源回収に出すときにホチキスの針が気になる。今は外しているが、継じないようにならないか」といったご意見が寄せられました。

当広報誌の製本用に使用しているホチキスは、再生紙の製造過程である「溶解工程」で沈殿するため、資源回収時に外す必要がありませんのでご了承ください。



# MEMBER'S VOICE

お便り紹介



## 貴重なご意見・ご要望をありがとうございます

皆様のご要望に応えられるよう、より一層努めてまいります

J Aに対するご意見・ご要望を!  
多くの組合員・利用者の皆様からのご意見・ご提案をお待ちしています。なお、次ページの専用はがき以外(官製はがき、封書)での投稿も受け付けています(その場合の郵送料は応募者負担です)。

▼喫茶モ工ナさんは私も大好きでよく行きます。(50代 三上町)

▼先日、実家の給湯器が壊れてしまつた時に、J Aに相談したらすぐ見に来てくれました。そしていち早く設置してくれたので大変助かりました。(40代 市田町)

▼グリーンセンターの農畜産物には「出荷者シール」が貼られています。安心して購入できます。(70代 佐土町)

▼以前、直売所の野菜といっしょに紹介されていたレシピで思ひぬおいしい料理ができたことを思い出しました。知らない野菜や新しい調理法を生産者さんから学びたいと思いました。(60代 ハ幡町)

▼スプレーマムがとてもきれいで、花も長持ちするので大好きです。(70代 中部町)  
▼今回の特集で紹介されていた「わさび葉」は食べたことがあります、「青パパイヤ」はどう食べたいのかわからず買えなかつたので、次回見かけたら食べてみようかなと思いました。(40代 御油町)

グリーンセンターや産直ひろばで販売する農産物を使用する「地域農業応援店」を紹介します

### 〈地域農業応援店〉

#### Boulangerie GARBO ガルボ

豊川市中条町広口7-4  
☎0533・56・9105

[営業時間]  
8:00~17:00  
(土・日・祝7:00~)

[定休日]月曜日



#### 「旨カレーパン」「プレミアムキーマカレーパン」

旨カレーパンは牛すじ入りの牛肉カレーを一日かけて煮込み一晩寝かせて作った自家製カレーが入ったパンです。プレミアムキーマカレーパンは6種類のスパイスでじっくり煮込んだキーマカレーと、とろりとした半熟たまごが入ったカレーパンです。合挽き肉はグリーンセンターの精肉店のお肉を使っています。カカオを少し混ぜて味の深みを出しています。どちらも大人気のパンです。ぜひお買い求めください。



職人が粉から丁寧に練り上げた生地で、毎日60~100種類のパンをひとつひとつ焼き上げています。食材も厳選したものを使い、カレーなどの具も全て店で手作りしています。

トマトなどの野菜などは地元農産物を使っています。新鮮でおいしい地元の農産物はお客様からも好評です。

「地域農業応援店」随時募集中 詳しくは企画課までお問い合わせください。☎85・3171



豊川市周辺のお出かけスポットをまりくんが毎月ご紹介します

# お出かけ!!まりくん

今月のお出かけ先

## こざかい葵風館

こざかいきふうかん

豊川市小坂井町大堀10番地

令和3年5月にオープンした「こざかい葵風館」は支所、図書館、生涯学習センター、児童館、福祉相談センターを統合した施設だよ！この愛称は一般公募のなかから選ばれたんだって！三葉葵の紋や風まつりなど地元にちなんだものが名前の由来だよ。



屋外ステージや  
歴史にちなんだデザインなど  
みんなのアイデアが  
つまっているよ！

## Wai!Wai! Himawari

組合員とJAのコミュニティ誌 わい！わい！ひまわり

2026  
FEBRUARY  
VOL.430

2

発行日：2026年1月15日

発行者：ひまわり農業協同組合 総合企画部 企画課

〒442-8517 豊川市諒訪1丁目1番地 TEL 0533(85)3171

広報誌はホームページでも見られます

JAひまわりホームページ

<https://ja-himawari.com/>



JAひまわり  
LINE公式アカウント



グリーンセンター・産直ひろば  
インスタグラム



JAHIMAWARIGREEN

キリトリ

X キリトリ

POST CARD

料金受取人払郵便

豊川局承認

2047

差出有効期間

2027年

10月31日まで

4 4 2 8 7 9 0

豊川市諒訪1丁目1番地

ひまわり農業協同組合 総合企画部 企画課

「Wai!Wai! Himawari 2月号」係

PRESENT

豊川市産  
『とよかわいちご』を  
抽選で5名様へ  
プレゼント!!



応募方法

裏面に住所・氏名・年齢・電話番号をご記入のうえご応募ください。また、JAひまわりに対するご意見、ご要望などもお待ちしています。なお、当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

（応募締切） 2026年2月15日迄

※写真はイメージです

本誌は、JAひまわりの組合員向け広報誌（月刊）です。農業者以外の方でもJAの組合員になることができます。組合員への加入等については、当JAの本支店窓口にお問合せください。

※山折りして記入いただいた個人情報を下さい。